



鳥瞰2 【防災拠点地区の要に建つタウンゲート庁舎】

- 庁舎への車でのアプローチは消防署前経由の庁舎進入路のほか、国道レベルから直接立体駐車場にアクセスできその屋上階は中学校グラウンドともつながります。
- 歩行者や自転車等でのアクセスは国道レベルで歩車分離の安全な歩行者空間で庁舎に導かれ、エレベーター、階段、スロープで千代亀広場や庁舎へ上ります。
- 中学校のグラウンドレベルからはほぼ同じレベルで駐車場への進入を計画します。
- 議場屋根のデザインは、活きのいい鰹が跳ねるイメージ「フィッシュダンス」をしています。



鳥瞰3 【庁舎玄関廻りの景観づくり】

- 庁舎玄関前に車寄せロータリーを大きく設け、忠霊塔は植栽で囲います。
- 提案として、中学校の校門付近を整備することで、忠霊塔を中心としたロータリーをつくり、日常の車両動線と災害時のグラウンドへの動線の円滑化を図ります。



鳥瞰5 【中学校グラウンドとつながる庁舎と立体駐車場】

- 庁舎西側には、車寄せから立体駐車場に至る車路を設けます。
- 非常時には、中学校のグラウンドレベルとほぼ同じレベルで立体駐車場屋上階と車の行き来ができる計画とします。
- 庁舎西側は熱負荷を考慮して開口部を少なくし、中学校に対し、視覚的配慮をします。



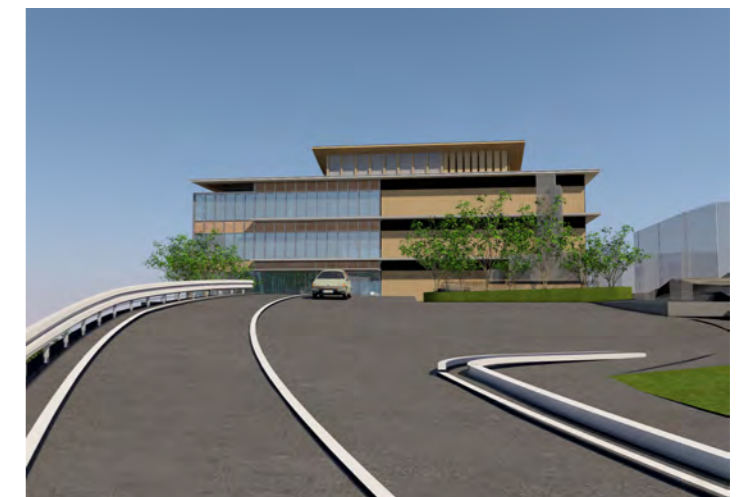
地上6付近 【街に向かって開かれたシンボリック庁舎】

- 国道交差点に面してシンボリックな庁舎の大きく開かれたタウンゲートで迎え入れます。
- 大階段上の千代亀広場は町民活動の場、集いの場となり、「防災では高台、心は町のレベルの庁舎」をつくります。
- 庁舎は、セットバック形状とし、街に圧迫感を与えないボリュームと背景の山と呼応したデザインとします。
- 駐車場は国道側を低く抑え、景観と近隣に配慮した計画とします。
- 立体駐車場のファサードは、漁師町として網をイメージし、地場木材を使用したデザインとします。



地上4付近 【国道側に景観的配慮をした立体駐車場】

- 国道側に対して半層下がった立体駐車場とし、近隣にも圧迫感の少ない計画としています。
- 既存斜面から立体駐車場を離して建て、斜面の安定化を図ります。
- 立体駐車場のファサードは、漁師町として網をイメージしたデザインとします。



地上9付近 【忠霊塔を緑で囲い庁舎玄関にふさわしい景観づくり】

- 庁舎北側正面玄関は、大きな庇で迎え入れ、検診車や車いす駐車スペースなどを確保します。
- 忠霊塔は、中高木で囲い、庁舎との調和を図ります。